

『スタートライン 一步踏み出せば奇跡は起こる』

喜多川 泰／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 913.6/キタ

今の自分にできることで、自分の価値を判断しちやいかん。5年後の自分の可能性を舐めるなよ。「18歳のぼく」と「18歳のわたし」が5年後に見つけた将来とは？ 瑞々しい恋物語とともにおくる、勇気と希望のメッセージ。

『いっしょに走ろっ! 夢につながる、はじめの一步』

星野 恭子／著 大日本図書 Z780/ホシ/

ブラインドランナーと義足のアスリート、それぞれの戦いと、それをささえる人たちを描くドキュメンタリー。彼らの姿を通して、人と人がつながりあうことの大切さを伝える。

『大丈夫!キミならできる! 松岡修造の熱血応援メッセージ』

松岡 修造／著 河出書房新社 Z159.7/マツ/

本気になって“自分らしさ”を見つけよう! 大切な一步を踏み出すとき、勝負を挑むべきとき、何かにつまずいたときに勇気が湧いてくる、松岡修造の応援メッセージを収録。

『雨月物語 魔道、呪い、愛、救い、そして美の物語集』

金原 瑞人／著 岩崎書店 Z913.56/カネ

翻訳家・金原瑞人の比較文学的な要素をもった現代語訳で蘇える、雨月物語。文芸部の生徒たちの発表の形式で、物語の内容をやさしく伝える。古典の入門書に最適。

『高校倫理からの哲学1 生きるとは』

直江 清隆／著 岩波書店 108/ナオ/1

高校倫理のすべての分野から題材を選び、平易な言葉で「人間とは何か」を考える哲学入門。1は、思想の源流や日本の伝統、現代の医療問題をあげ、「生きる」をテーマに考察する。

『サエズリ図書館のワルツさん 1』

紅玉 いづき／著 星海社 913.6/コウ/1

そこにあるすべての本には数え切れない“想い”があり、そこに集うすべての読者にはその数だけの“物語”があった。本の“未来”が収められた、美しく不思議なサエズリ図書館と、そこに生きる本を愛する人の物語。

『ハンナの記憶 I may forgive you』

長江 優子／著 講談社 Z913.8/ナガ/

「山手のおばあちゃん」の家出、謎のクリスマスカード、そして東日本大震災の発生…。さまざまな事件が起こる中、波菜子は67年前の秘密の交換日記に手を伸ばす。戦時下の横浜、日本とイギリスの少女の友情を描いた青春小説。

『路上の文豪、酔いどれジョナサン「幻の傑作」』

ニック・フリン／著 イースト・プレス 933.7/フリ/

文豪気取りの放蕩親父ジョナサンと息子ニックがボストンの路上で繰り広げるスラップスティック・ノンフィクション。映画「Being Flynn」の原作。